イワツバメ

Delichon urbica

ツバメ科・夏鳥

イワツバメ

名前の由来

イワツバメは岩ツバメで、山や海岸などの岩場に巣をつくるツバメであることから。ツバメの意はくちばしで土をくわえていき巣をつくるので「土食み(つちばみ)」と呼ばれ、チを略しミがメに変わりツバメになったという説、「ツバ(光沢)クラ(黒)メ(鳥)」からというもの、他に「ツバクラという鳴き声」から、「ツバ(鳴き声)クラ(小鳥)メ(鳥を示す接尾語)」から、など諸説がある。漢字名：岩燕

特定種

該当なし

形態的特徴

全長（くちばしの先から尾の先まで）15cm。背や羽が黒く下面が白い。腰が白く、尾が短いところが特徴のツバメ。

飛び方：巣周辺や採餌地では、上空を朝夕に多くの個体が、乱舞するがごとく飛び交う。

声：さえずりと思われる声としては「ジュリジュリ、ビィビィ、ジュリジュリ」と、早口に濁った声で鳴く。飛んでいるときにもこのような声で鳴き、群れているときには互いに鳴き交わしているという。「ジュ、ジュリ」と短く鳴くときもあり、ヒナは「ジュジュジュ」と濁った低い声で鳴くという。

ショウドウツバメ。胸に「ネクタイ」がある

類似種と区別点

ショウドウツバメ。

ショウドウツバメは上面が褐色で腰は白くない。また胸にネクタイ状（T型）の模様がでることが多い。

生息環境・分布

もともとは山地や海岸の岩壁や洞穴に集団で営巣していたが、一般には橋桁などの人工建造物で多く見られる。十勝には４月中旬に渡来する夏鳥。

分布：ユーラシア大陸の温帯・亜寒帯で繁殖し、インド、東南アジアで越冬する。

日本には九州以北に夏鳥として渡来し、各地で繁殖。九州では相当数が越冬する。

北海道（十勝でも）では夏鳥。4月中旬に渡来する。十勝管内広く分布する。市街地や川沿い、山間部でもやや開けた環境に生息し、建物、橋下、ダム堤体などに営巣する。

生活サイクル

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
十勝出現期						繁　殖						
九州以南（越冬期）												

食性・他生物との関わり

餌としてハエなどの昆虫類を食べる。群れで、繁殖地や採餌地の高空を乱舞、飛行しながら飛翔している昆虫を捕る。営巣地では古巣にダニ類がつきヒナに影響を及ぼすことから、数が増大すると新たに営巣場所を換えることが知られている。

繁殖生態

繁殖期は４月～８月。

早期に渡ってくる個体の多くは、すでに一夫一妻のつがいとなっているという。古巣を使うものは年２回繁殖し、新たに巣を作るものはほとんどが年１回繁殖するという。

泥と枯草、唾液を用いて、椀型の巣を壁や軒、岩壁などに密着するように作る。上部は屋根となるような天井などに近くなるように作る。

産卵の数日前からオスは常にメスの後について巣に出入りし、時折交尾も見られる。

１～４個の卵を産み、オスメス交代で卵を抱き、抱卵日数は約２週間。ふ化後ヒナへの給餌はオスメスが約半分ずつ受け持つという。育雛日数は約26日。

十勝頭首工（音更川・士幌）にかけられたイワツバメの巣と親（円内）

興味深い話

■巣は壁面に作られ、その外側は主に泥が材料で、オスメスが半々に分担して作る。内側は主に鳥の羽毛や枯れ草などを材料にメスが主役で運ぶ。

■産卵後、抱卵は主にメスが、餌運びはオスメス半々に分担して行う。

■巣立ち前には両親に近隣の親鳥が加わって、巣口のそばまで飛んできてはパッと飛び去る行動を繰り返して巣立ちを誘導する。

■親鳥のねぐらは巣作り・抱卵・育雛期のヒナ保温中まで巣中だが、それ以後は集団でほかにとる。

■集団営巣するが、個々の巣はつがいごとに防衛し争いが絶えないという。

■元々は山地や海岸の岸壁や洞穴に集団営巣していたが、人工建造物への営巣が非常に多くなっている。特に戦後は市街地の学校や工場、駅、橋桁などのコンクリート製の大きな建造物にコロニー（集団営巣地）が作られる例が増え、それによって分布域が拡大しているという。

■生息地の垂直分布域は、海にかかる橋桁から、高山の山小屋まで、と日本に生息する鳥類の中では群を抜いて広い。

建設中の札内川ダムから巣材を運び（円内）、クレーンに巣作りをしていた（1995年）

配慮事項

繁殖期に営巣場所に近寄ることを避けること。

参考文献

「山渓カラー名鑑 日本の野鳥」高野伸二 編、浜口哲一・森岡照明・叶内拓哉・蒲谷鶴彦 著、山と渓谷社 1985（1995 ２版21刷）

「原色日本野鳥生態図鑑(陸鳥編)」中村雅彦・中村登流、保育社 1995

「北海道鳥類目録改訂２版」藤巻裕蔵、帯広畜産大学野生動物管理学研究室 2000

「図説 日本鳥名由来事典」菅原浩・柿澤亮三 編著、柏書房 1993

「続野鳥の生活」羽田健三 監修、築地書館 1975

「鳥のおもしろ私生活」ピッキオ、主婦と生活社 1997